

第10回日本セルフメディケーション学会

年会長 福島 紀子（慶應義塾大学薬学部）

平成24年10月13日（土）、14日（日） 慶應義塾大学薬学部

プログラム

第1日目 10月13日（土）

12:00 受付開始・開場

12:50 ポスター掲示（12:50までに掲示すること。）【1階エントランスホール】

13:00 開会の辞 【1号館 地下1階マルチメディア講堂】

池田 義雄 会長挨拶

福島 紀子 年会長挨拶

13:15-15:10 『諸外国から学ぶセルフメディケーション支援』

座長：亀井美和子（日本大学薬学部 教授）

『英国のセルフケア支援とセルフメディケーション』

松原なぎさ（松原薬局ストア 薬剤師）

『オーストラリアから学ぶセルフメディケーションに係る薬剤師の役割』

坂巻 弘之（名城大学薬学部 教授）

『米国のOTC医薬品を通して考える医療と薬剤師の役割』

陳 恵一（CJCファーマ（株） 代表取締役

元カイザー・パーマネンテ薬剤部マネージャー）

質疑・応答

15:15-16:15 ポスター示説

16:15-17:30 教育講演

進行役：福島紀子（慶應義塾大学薬学部 教授）

「あなたならどうする？ むくみを訴える患者さん」

沼田久美子（東芝プラントシステム株式会社 診療所長 医師）

三上 正利（ミカミ薬局 日本漢方協会副会長 薬剤師）

17:30-18:30 交流会

【1号館2階学生ホール】

第2日目 10月14日(日)

9:30 受付開始・開場

9:45-12:10 シンポジウム 【1号館地下1階 マルチメディア講堂】
「見て、視て、聴いて、コミュニケーション」

座長：吉山 友二（北里大学 薬学部 教授）

『プライマリケアに求められる薬剤師の臨床判断』

木内 祐二（昭和大学薬学部 薬学教育推進センター長・教授）

『保険薬局に勤務する薬剤師の受診勧奨環境』

飯島 康典（イイジマ薬局 薬剤師）

『見て、聞いて、コミュニケーションして』

湯浅 和恵（SJS 患者会）

質疑応答・討論

12:20-12:40 S M A C 賞発表
閉会式
次回年会長挨拶

区民講座 12:30 受付開始 【2号館 地下1階 B55 教室】

13:00-14:40 区民講座 『食べて実感！ タニタ式健康のひみつ』

※タニタのお弁当を食べながら栄養管理について勉強します。

区民講座は、事前申し込みが必要です（先着150名）。

9月10日(月)10時より受付を開始いたしますので、
下記のメールアドレスに、「区民講座申込み」の件名で、
本文に 1)氏名(フリガナ)、2)郵便番号・住所、3)電話番号、
4)第10回日本セルフメディケーション学会参加の有無、を書いてお送り下さい。

selfmed10@pha.keio.ac.jp

※申込みいただいた個人情報は、今回の区民講座でのご連絡のみに使用いたします。